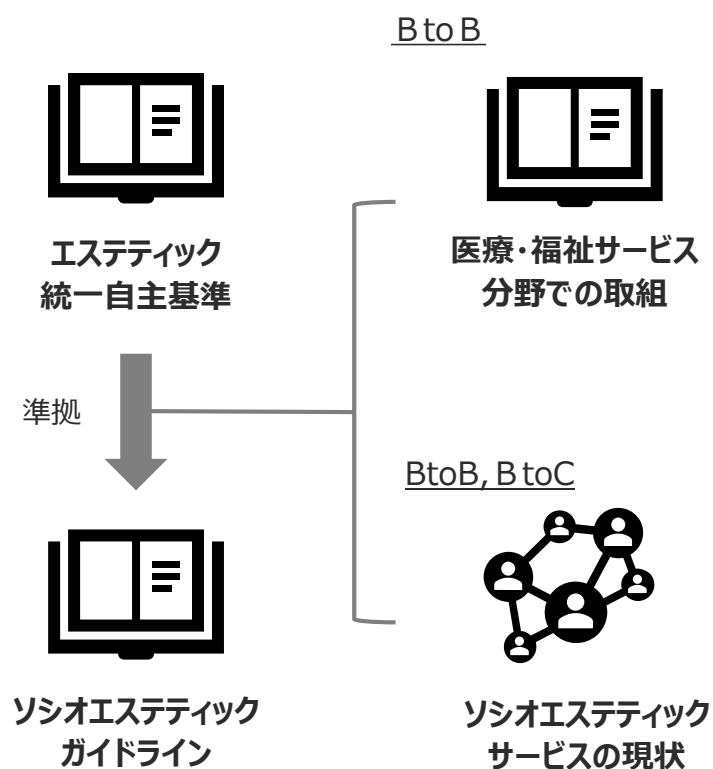


ソシオエスティックガイドライン策定のアプローチ

資料No.4

- ・ ガイドラインは、「エスティック統一自主基準」に準拠して、ソシオエスティックサービスに特化・具体化する。
- ・ 医療・福祉サービスの取組(BtoB)や、サービスの現状（BtoB、BtoC）を把握して、ガイドラインを策定する。



【目的】

- ・ サービスの質を担保・確認できる環境を整備する
 - ・ 医療機関、福祉施設等が対外的に説明できるようにする
- 医療機関・福祉施設での導入を進める
→専門家が安心してサービスを紹介できるようにする（理解を促す）

【方法】

- ・ 仲介者である医療機関、福祉施設等で導入されている指標を盛り込む（既存のガイドラインや第三者評価の取組を反映）

【目的】

- ・ ソシオエスティックならではの留意点や、現場で実際に起こっていることをできるだけ把握して、課題解決のための施策を盛り込む
- 患者・利用者、家族が受け入れられるようにする

【方法】

- ・ アンケートとヒアリング調査によって、ソシオエスティックサービスの現状を把握する